

## ○平成28年度決算の概要

### (1) 収支計算書の状況

#### ① 資金収支計算書

資金収支計算書は、当年度の学園の全ての資金の動きを示したものです。

資金収入の合計は予算と比較して862百万円上回り13,022百万円となりました。一方、人件費・教育研究経費・管理経費などの資金支出は、予算を250百万円下回り10,409百万円となりました。なお、予備費のうち110百万円を人件費支出・教育研究経費支出・管理経費支出等の予算に充当しています。その結果、翌年度への繰越支払資金は、予算を1,113百万円上回り2,612百万円となりました。

#### ② 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、当年度の資金の動きを3つの活動に分類し、活動区分ごとに資金の流れを示したものです。

「教育活動」では資金収入が9,965百万円、資金支出が9,035百万円、調整勘定等が1百万円となり資金収支差額が930百万円になりました。「施設整備等活動」では資金収入が285百万円、資金支出が1,179百万円、調整勘定等が27百万円となり資金収支差額が△866百万円になりました。「その他の活動」では資金収入が435百万円、資金支出が328百万円となり資金収支差額が106百万円になりました。その結果、当年度の支払資金が171百万円増加し、翌年度繰越支払資金は2,612百万円となりました。

#### ③ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、事業活動ごとの収入および支出、基本金組入後の収支の均衡状態を明らかにすることにより、学園の当年度における経営状態を示したものです。

「教育活動収支」では収支差額が予算を343百万円上回り、△564百万円となりました。これは、主に補助金が89百万円、雑収入が136百万円増加し、教育研究経費が112百万円減少したことによるものです。一方、「教育活動外収支」は収支差額がほぼ予算どおりでした。その結果、経常収支差額は予算を342百万円上回り、△406百万円となりました。

「特別収支」では収支差額が予算を108百万円上回り、271百万円となりました。これらの結果、基本金組入前の当年度収支差額が△134百万円となり、基本金組入額408百万円を計上後の当年度収支差額は△543百万円となりました。

また、当年度収支差額△543百万円に前年度から繰越された収支差額△14,074百万円、基本金取崩額4百万円を加算した結果、翌年度繰越収支差額は14,613百万円の支出超過となりました。

### (2) 貸借対照表の状況

貸借対照表は、当年度末における学園の財政状態を示したものです。

「資産の部合計」は80,569百万円で、前年度末に比較し364百万円の減少となりました。有形固定資産が974百万円減少、特定資産が399百万円増加、その他の固定資産が2百万円減少、流動資産が213百万円増加したことによるものです。「負債の部合計」は4,457百万円で、前年度末に比較し229百万円の減少となりました。「純資産の部合計」は基本金が404百万円増加、繰越収支差額が539百万円減少し、前年度末に比較し134百万円の減少となりました。その結果、翌年度繰越収支差額が14,613百万円の支出超過となりました。